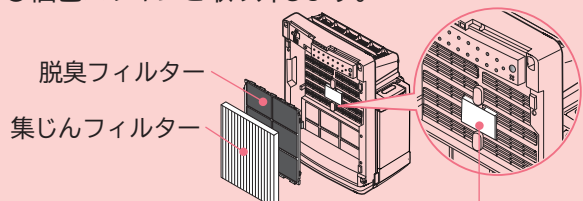


運転前の準備 → (P.12~15)

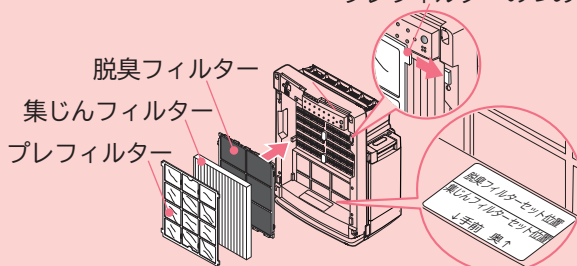
1 フィルターを本体にセットする → (P.12,13)

- ① パネル、プレフィルターを取り外す → (P.12)
- ② フィルターを取り外す
(集じん用と脱臭用があります)
 - 集じんフィルター、脱臭フィルターをポリ袋から取り出します。
 - 梱包パッキンを取り外します。
- ③ 脱臭フィルター、集じんフィルター、プレフィルターを取り付ける
 - ラベルの脱臭フィルターセット位置、集じんフィルターセット位置にフィルター(脱臭・集じん)をセットします。
 - プレフィルターを本体に取り付けます。
プレフィルターのつめ



梱包パッキンは必ず取り外してください。

- ポリ袋に入れたままフィルターをセットしても清浄効果は得られません。また、故障の原因になります。

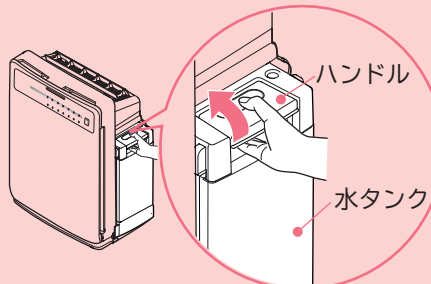


- ④ パネルを本体に取り付ける → (P.13)

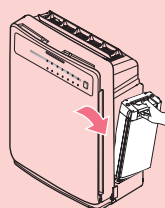
2 リモコンに乾電池を入れる → (P.13)

3 水タンクに水を入れる(「加湿」「肌保湿」モードで運転するとき) → (P.14, 15)

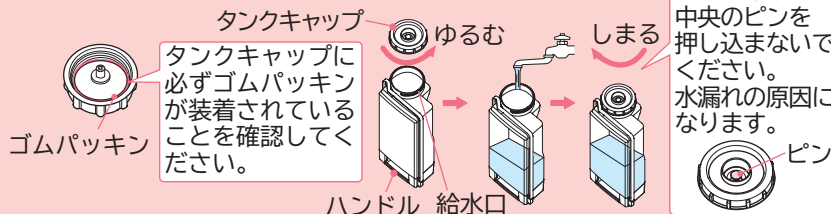
- ① 水タンクを静かに取り外す
- ② タンクキャップを外して、きれいな常温の水道水を入れる
 - タンクキャップ中央のピンを押ししたときに、バネで戻ることを確認してください。
 - タンクキャップを水タンクの給水口面と平行にして確実に締めつけてください。こぼれた水をふき取り、タンクキャップを下側にしておいて水漏れがないことを確認してください。
※タンクを持ち運ぶときは、タンクキャップを上側にしてください。
 - 水タンクのハンドルに水がたまっている場合は、ふき取ってください。
 - タンクキャップは消耗品です。
(ゴムパッキンの劣化などにより水が漏れる場合は、別売り部品のタンクキャップを購入のうえ、交換してください → (P.38))



上図のように水タンクハンドルの上面に親指をあてながら、下側を持ち上げてロックを外します。



水タンクを手前に引いて、水タンクを取り外してください。




- ③ 水トレイを引き出して、加湿フィルターとトレイフタが取り付けられていることを確認して、もとに戻してください
- ④ 本体の水タンク収納部に水タンクをセットする

運転を始める → (P.16)

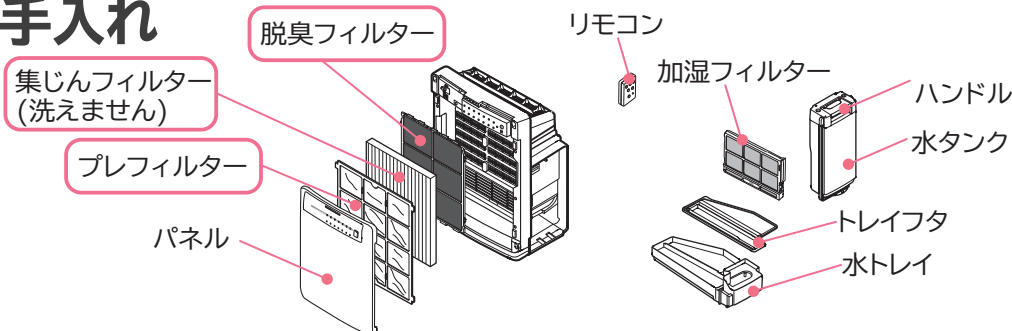
1 プラグをコンセントに差し込む → (P.16)

2 リモコンの を押す → (P.16)

停止する場合は、運転中に  を押す

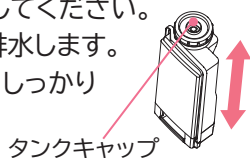
- 最初の3分間はお部屋の空気の状態を調べて記憶します。その間「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」が点滅します。 → (P.16)
- お部屋の空気が汚れていると、クリーンレベルが緑色点滅になりますが、異常ではありません。 → (P.20)

基本のお手入れ



水タンク (毎日) → (P.25)

- 1日1回は必ず新しい水道水に交換してください。
- 水タンクに水が残っている場合は、排水します。
- 水道水を少量入れ、タンクキャップをしっかりと閉めて、振り洗いをします。(水を入れ換えて2~3回)

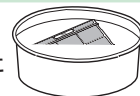


タンクキャップ

加湿フィルター (約1ヶ月に1回以上) → (P.26,27)

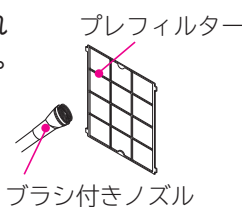
ケースから外さないでください。

- 水、ぬるま湯または台所用中性洗剤を溶かした水に、30分以上つけおき洗いをします。
- 新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いをします。(2~3回繰り返します)
- 軽く振って水を切ります。(水がしたたり落ちない程度)



プレフィルター (約1ヶ月に1回) → (P.29)

- 掃除機などでほこりを取り除き、汚れがひどい場合は水洗いしてください。水洗いのあとは、十分に水を切って、日のあたる風通しのよい場所で乾燥させてください。
- 水洗いの際は、毛先のやわらかい歯ブラシなどで洗ってください。



プレフィルター

ブラシ付きノズル

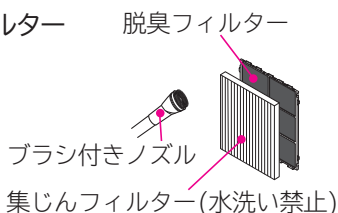


水あか

水あかや白い固まりが落ちにくいときは、クエン酸をご使用し、お手入れをしてください。→(P.26)

集じん・脱臭フィルター (約1ヶ月に1回) → (P.29)

- 集じんフィルター、脱臭フィルターのほこりが気になる場合は、掃除機などで取り除いてください。



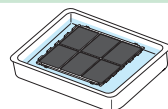
脱臭フィルター

ブラシ付きノズル

集じんフィルター(水洗い禁止)

脱臭フィルター (約6ヶ月に1回) → (P.30)

- 掃除機などでほこりを取り除く。
- 水またはぬるま湯(約40℃)に約3時間程度つけおき洗いをします。
- 陰干しで十分に乾燥させます。(風通しのよい場所で約1日)
- ぬれたままでは使用しないでください。水滴がまだ残っている場合は、水滴をふき取ってください。吹き出し口から、水滴が吹き出したり、脱臭効果が低下し、異臭の原因になります。



お困りのときは

修理を依頼される前に 次の点をもう一度確認してください。

こんなときは	ここを確認してください	直しかた
加湿しない	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンクに水が入っていますか。 ●「空清」、「花粉」の運転モードになっていませんか。 ●加湿フィルターが汚れていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンクに水を入れてください。→(P.14) ●運転モードを「加湿」、「肌保湿」にしてください。→(P.17) ●加湿フィルターを清掃または交換してください。→(P.26,27)
お手入れランプが消えない	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際にリセットボタンを押しましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●リセットボタンを押してください。→(P.25)
空気がよごれているのに風量が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ●風量を切り替えていませんか。 ●二オイセンサー部の穴がほこりや障害物でふさがっていませんか。 ●センサー感度を低くしていませんか。 ●電源プラグをコンセントに差し込むとき、周囲の空気がきれいな状態でしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●風量ボタンを押して、センサー自動または他の風量を選んでください。→(P.18) ●お手入れをしてください。→(P.31) ●センサーの感度を切り替えてください。→(P.21) ●風量の切り替えを行ってください。または、窓を開けるなどして周囲の空気がきれいな状態のときに電源プラグをコンセントに差し込んでください。→(P.21)
「加湿」で運転しても加湿量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●風量は「風量自動」になっていますか。 ●プレフィルターやフィルターにほこりなどの汚れが付着していませんか。 ●加湿フィルターが正しくセットされていますか。または、汚れていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●設置場所や使用環境により、水が減らない場合があります。運転モードを「肌保湿」にして、風量を「強」または「ターボ」にしてください。→(P.17~19) ●フィルターを清掃してください。→(P.29) ●加湿フィルターを正しくセットしてください。汚れているときは、お手入れまたは交換してください。→(P.24~27)

●上記の症状以外の場合は、取扱説明書の「お困りのときは」をご覧ください。→(P.35~37)